



## 阿蘇・くじゅうの草原の歴史と未来をさぐる公開シンポジウム開催



基調講演を行う  
京都大学名誉教授 大山喬平氏

9月13日、国立阿蘇青少年交流の家で別府大学の創立100周年記念事業として別府大学文化財研究所と京都市にある総合地球環境学研究所がシンポジウムを開催し、市民や研究者等250人が参加しました。

今回、「阿蘇・くじゅうの草原における火と水の利用の歴史」をテーマに2年半の調査・研究の中間報告として外部の研究者も交え研究集会を開催したもので、「中世阿蘇の神々と村々」と題した京都大学名誉教授大山喬平氏による基調講演のほか、草原維持活動をされているNPO法人阿蘇花野協会瀬井純雄氏の講演、8人の研究報告など、「草原と火」をテーマに3日間議論が行われました。

## 飛距離を競う「ドラコン」全国大会に出場

9月20日、茨城県水戸レイクスカントリークラブで開催された「2008世界ドラコン選手権・日本大会決勝」に、石田真也さん(35歳、乙姫)が出場しました。ドラコン競技はティーショットの飛距離を競う体力と技術を要する競技です。技術的にはシングルの腕前の石田さん。体力も高校時代(九州学院)ラグビーで花園(全国大会)に行った経験があるほか、なんと握力80kgという身体能力の持ち主。今大会でも、プロ選手を含め42人が出場した中、自己記録348ヤードには届きませんでした。上位に入る健闘でした。



石田真也さん



試合本番の様子

## 「願成就坂」をふたたび — 散策道完成 —



自動車の普及により昭和40年頃から利用が途絶えた生活道や牛馬道を再び拓き、トレッキング用の「草道」として活用する活動を続けている阿蘇北外輪山トレッキング協議会(阿南善範会長ほか15人)の皆さんが、今回、坂梨地区の「願成就坂」約2.5kmを拓き、その開通式が8月29日行われました。「願成就坂」は波野から一の宮町をつなぐ生活道で、険しい坂ですが蛇行させたり石を敷くなど先人の工夫が随所に見られ、懐かしさと森林浴が同時に楽しめるトレッキングコースとなっています。

開通式では、道づくりのため約2ヶ月間草切作業に汗を流したメンバーの方々が完成を祝いました。また9月14日は一般の方40人が参加した第1回トレッキング会が行われました。

なお、会ではこれまでに、「願成就坂」のコース含め11本のコースを完成させています。案内も行われていますので、ぜひ、健康づくりのためトレッキングに挑戦してみてください。

連絡先 ☎090-4515-7056(阿南)